

永井 航太さん（博士前期課程 1 年）が化学工学会宇都宮大会 2024 において関東支部長賞（学生奨励賞）を受賞しました

Mr. Kota Nagai (1st grade in Master course) won the student encourage prize in SCEJ Meeting in Utsunomiya 2024

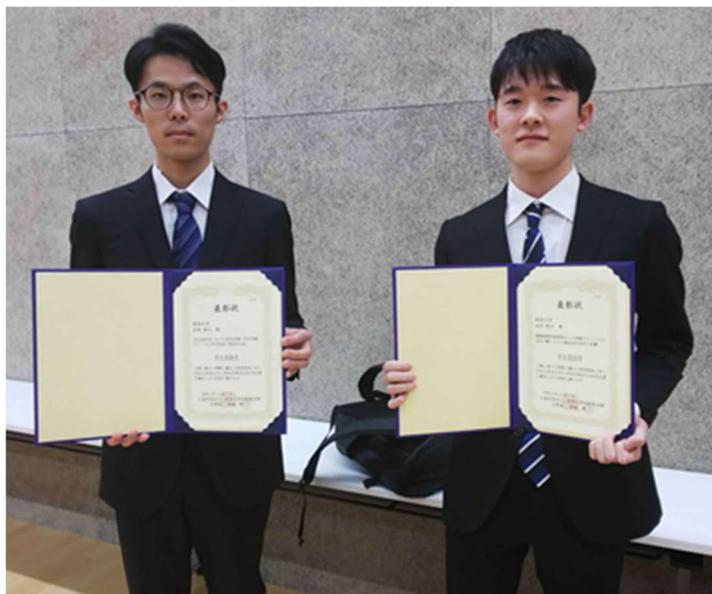
令和 6 年 11 月 7 日から 8 日にかけてライトキューブ宇都宮、宇都宮大学陽東キャンパス（いずれも宇都宮市）で行われた化学工学会宇都宮大会 2024 において、大学院自然科学研究科材料生産システム専攻素材生産科学コース・博士前期課程 1 年の永井 航太（ながい こうた）さんが関東支部長賞（学生奨励賞）を受賞しました。

様々な化学品製造プロセスで用いられる晶析工程において、高純度の結晶製品を生産するには、結晶化の推進力である過飽和度をプラントスケールで制御し、不純物成分の混入を回避しながら目的成分の結晶を選択的に成長させる必要があります。永井君は、核燃料廃棄物を模擬した硝酸塩系水溶液からの硝酸アルミニウム晶析分離において、滴下冷却法を適用することで、従来型の回分冷却法を凌ぐ分離効率を達成するとともに、シードチャートに基づく種晶添加条件の工学的指針を見出しました。永井君の今後の活躍が期待されます。

発表者：永井 航太（新潟大学大学院自然科学研究科・博士前期課程 1 年）

（指導教員：三上 貴司 准教授）

演題名：模擬核燃料廃棄物からの硝酸アルミニウム晶析分離における種晶添加条件の影響



永井 航太君（写真右）